

古典語の夕べ

— ラテン語と漢文

2011 8/26 (金)

於 北白川幼稚園第三園舎

山の学校恒例のイベント「ラテン語の夕べ」。

第22回となる今回は「漢文の夕べ」との2本立てで、「理想郷」という同一テーマにもとづいて考察します。

古典に関心のある方ならどなたもご参加頂けます(無料)。ふるってのご参加をお待ちしています(電話、E-mail、FAXにてお申し込み下さい)。

テーマ

「古典古代における理想郷」

第1部 漢文の夕べ 16:30-18:00

ここからあちらへ

ゆ まさ なんぢ さ か らくど ゆ
「逝きて將に女を去り、彼の楽土に適かんとす」(『詩経』魏風碩鼠)

講師：村田 滯 (京都大学文学研究科博士後期課程
日本学術振興会特別研究員 DC2)

楽園への希求の裏側には、現実への失望や嫌悪が潜んでいる。困難と苦悩に満ちた「ここ」を離れ、幸福と調和の世界である「あちら」へ行きたいという願いは、中国古代においてどのように表現されてきたのだろう。陶淵明「桃花源記」を始めとする中国の理想郷について、現実の苦しみとの対比から考えてみたい。

陶淵明 (365-427)



第2部 ラテン語の夕べ 18:30-20:00

黄金時代は蘇るか

ウェルギリウスにおける黄金時代再来のテーマ

講師：山下 太郎 (山の学校代表)

古代ギリシアの詩人ヘシオドスの語る五時代説話はいわゆる黄金時代のテーマとして、後代の多くの詩人たちに様々な形で詩的着想を与えた。ウェルギリウスもその例外でない。理想郷の代名詞としての「アルカディア」を創造したこの詩人は黄金時代のテーマをどのようなものとして表現したか、その独自の視点をあとづけてみたい。

Publius Vergilius Maro

October 15, 70 BC – September 21, 19 BC



お申し込み・お問い合わせはこちらまで
学校法人 北白川学園 北白川幼稚園ノ山の学校
TEL: 075-781-3215
FAX: 075-781-6073
E-mail: taro@kitashirakawa.jp
〒606-8273 京都市左京区北白川ノ元町 41



第3回

お父さんとロボットカーを作ろう

「山の学校」では、小学5年生以上を対象とし、下記の要領でイベントを企画しました。ふるってのご参加をお待ち申し上げます。お申し込みは、781-3215までどうぞ。(先着順)

記

日時： A) 8月21日(日) 12:00～14:00 ロボットカーの製作

B) 8月21日(日) 14:30～16:30 迷路脱出・リベンジ

場所： 北白川幼稚園・第3園舎

費用： A) 3,000円(純材料費)※1 B) 無料 ※2 (※1、※2…下記の「備考」をご覧ください)

持物：*3mm プラスドライバー、ラジオペンチ、ニッパー (共に100均程度)、はさみ、筆記具

*もし持参可能であればノートパソコン(当日セットアップした環境でご家庭でも続きができます)

*記録媒体(SDカードなど、当日作成したプログラムを持ち帰るためのもの)

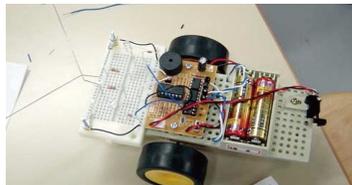
*またイベントBには、当日(以前)に製作したミュウロボをご持参下さい。

講師： 福西亮馬(山の学校講師)

対象： 小学5年生以上(中学生も歓迎)とお父さん同伴

A) は5家族、B) は10家族(先着)

内容：



A)『ロボットカーの製作』ではミュウロボ(スタジオミュウ製 <http://www.studiomyu.com/index.html>)という市販のロボットキットを製作します(写真)。完成したロボットはそのままでは動きません。パソコン

(Windows)から書き込んだプログラムによって、自律的に動かすことができます。もしパソコン(Windows)をお持ちでない方はその点をご留意の上ご参加下さい。また今回製作したロボットは、山の学校の『ロボット工作』(中学生クラス)の教材としても引き続きお使いいただけます。

B)『迷路脱出・リベンジ』では、前回(2月)に引き続き、迷路脱出のプログラムを改良します。また今回は、赤外線センサーと計測技術を使って、より賢く壁を感知する手法でアイデアの幅を広げます。(ただし部品は当日のみのレンタルとなります)。プログラムの作成は小学生一人では難しいので、必ずお父さん(ご家庭でも引き続き見てくださる方)の同伴をお願いいたします。今回のイベントがご家庭でのロボット工作の取り組みの一助となれば幸いです。

備考：※1 費用は当日の最後にご清算下さい。なお、材料費の中にはロボットを動作させる環境(パソコン、USBシリアル変換ケーブル950円)等の代金は含まれておりません。必要に応じて各自でお求め下さい。ただしPIC16F688(500円)、赤外線センサー(400円)、モータードライバーIC(300円)といった拡張パーツにつきましては、当日使用した物でなければお分けいたします。

※2 ミュウロボをすでにお持ちの方は、Bの方にお申し込み下さい。ただしミュウロボの修理や個別に改造がしたい方は、Aの時間帯に来て先に作業していただいても結構です(無料)。

(逆にBでは内容以外の作業をする時間がほとんどありませんので、ご注意ください)